

科目名		インテリア実習Ⅰ			
担当教員		木戸 久美子		実務授業の有無	○
対象学科		インテリアデザイン科	対象学年	1	開講時期
必修・選択		必修	単位数		時間数
授業概要、目的、授業の進め方		インテリアにおける、プロダクト、トレンドやデザイナーについてなど幅広い知識を学ぶ。また、企業とのコラボでニーズに合わせた空間演出を課題を通してトレーニングする実習 1. 説明→プランニング→実習→講評→添削と解説を繰り返して行い習得レベル差ごとの指導も適宜行う。 2. 目的を持って、表現する空間演出のプロセスを計画・実習する。 3. 条件に則した製作の進め方の基本を理解する。			
学習目標 (到達目標)		インテリアコーディネートに必要な知識を学習し、適切な選択と提案ができるようになることを目指します。また効果的なプレゼンテーションのためのテクニックを習得します。			
テキスト・教材・参考図書・その他資料		①超図解で全部わかるインテリアデザイン入門 ②はじめてのインテリア製図			
NO.	授業項目、内容			学習方法・準備学習・備考	
1	プレゼンテーション課題ー1 ①タウンハウスのインテリアコーディネート ・インテリア平面図の作成と着彩、断面図の作成			方法：要望を理解し、エレメントの配置を考え平面図、断面図を作成する。 目標達：条件に沿ったコーディネートを提案する。	
2	プレゼンテーション課題ー2 ①造り付け家具 ・造り付けクローゼットの立面図			方法：要望を理解し、エレメントの配置を考え平面図、断面図を作成する。 目標達：条件に沿ったコーディネートを提案する。	
3	プレゼンテーション課題ー3 ①夫婦の寝室のインテリアコーディネート ・図面と着彩、色彩計画、エレメントボード作成			方法：要望を理解し、条件に沿ったエレメントを配置し平面図、断面図を作成する。 目標達：条件に沿ったコーディネートを提案する。	
4	窓周りの装飾知識 ①窓周りの装飾の種類 ②適切な装飾プランの提案			方法：作成方法の説明と解説し、練習課題の実習 各課題の条件を把握し、基本が理解できている。 準備学習：テキストを見ながら、手順を練習する。	
5	家具の知識・フロアプランの知識 ①家具の種類と配置の知識 ②フロアプランの作成する			方法：作成方法の説明と解説し、練習課題の実習 各課題の条件を把握し、基本が理解できている。 準備学習：テキストを見ながら、手順を練習する。	
6	照明器具の知識 ①照明器具の種類 ②適切な配灯計画・器具提案			方法：作成方法の説明と解説し、練習課題の実習 各課題の条件を把握し、基本が理解できている。 準備学習：テキストを見ながら、手順を練習する。	
7	プレゼンボード作成のテクニック ①コーディネートの効果的提案とプレゼンボード作成			方法：作成方法の説明と解説し、練習課題の実習 各課題の条件を把握し、基本が理解できている。 準備学習：テキストを見ながら、手順を練習する。	
8	プレゼンテーション技術 ①クライアントへのプレゼンテーションテクニック			方法：作成方法の説明と解説し、練習課題の実習 各課題の条件を把握し、基本が理解できている。 準備学習：テキストを見ながら、手順を練習する。	
9	ショールーム等見学 住宅関連ショールームで実際に流通している商品を確認する			方法：商品の素材、特徴を確認しエレメント機能を学ぶ。 見学前：見学目的を明確化 見学後：レポートで、見学の効果を確認 準備学習：現場研究とマナー等の指導	
10	プレゼンテーション課題ー4 ①夫婦の寝室のインテリアコーディネート課題発表			方法：プレゼンボードを使用し、課題について発表する。他の学生課題の評価をする。 目標達成：プレゼンテーション力の向上を目指す。	
評価方法・成績評価基準				履修上の注意	
平常点	課題				
60 %	40 %	%	%	プレゼンテーション技法を学び、2年次インテリアコーディネーター資格試験合格を目指します。実務に活かせる知識やテクニックを学習し、即戦力となるようしっかりと技術を習得しましょう。	
成績評価基準は A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。					
実務経験教員の経歴		インテリアコーディネーターとして19年実務に携わる			